

# 東光寺たより 69

文責 東光寺英隆

## 仏壇の開眼供養へと♪

たまにですが、他のお寺さんから依頼を受けて法事等を行う事が有る住職♪此度も表記の供養を丁重に懇ろに勤めてまいりました♪初めてですので、当然存じ上げません♪ですが、せっかくご縁有ってお申いさせていただきますので、徐に・・・大事に・・・



## 前住職の色紙が飾られます♪

町内の歴史民俗資料館にて期間は5/16～6/28までの間見る事が出来ます。大勢の方に見てもらえたらなと念じております♪併せて、他の特別展も有りますので、是非とも自身の学に繋げてもらえたらと・・・



## 母の日の法事♪

母の日に1周忌と23回忌の法事がございまして、当家庭にとりましてお母さんを偲ぶ一刻になりました♪住職の母親はもうこの世にいませんが、旅行や研修会に連れていったのが懐かしい思い出です♪全てが楽しかった時ばかりではなかったかもしれませんが今日という日は思い出に浸りましょう♪それが今の自分にも繋がってまいりますとお伝えしました♪帰山してそうちゃん連れて花を愛でにゆきました♪

## 大学の恩師より 多謝♪

住職の大学時代の恩師がわざわざ自身の本を送ってくださいました。師とのお付き合いも何十年と続き、他大学から赴任された時の謂わば一期生だった住職♪一緒に登山したり、饅頭ごちそうになったり思い出が蘇る一刻でした。鈴木先生、出版おめでとうございませす。そしてありがとうございます。



### 詩集 ソラ猫のまた旅 鈴木 康子 著

自然と一步前に進める、明るい気持ちになれる詩集。

旅の景色と心の声のハーモニーの中で... ソラ猫がさわやかな笑顔の花束を心の扉の前にそと置いていきます。

POINT 詩の背景にある体験や記憶が、短いエッセイとして添えられ、「旅の余韻」が深まります。



著者 花園大学文学部教授 鈴木 康子

東京都生まれ。1989年中央大学大学院文学研究科博士課程単位取得修了。博士(史学)。花園大学文学部教授。主な著書は、『近世日蘭貿易史の研究』(樹文閣出版、2004)、『長崎参行の研究』(樹文閣出版、2007)、『長崎参行』(筑摩書房、2012)他。エッセイとして『ヤマノコ山にのぼる』(文芸社、2005)、『山猫先生オランダへゆく』(幻冬舎、2016)など多数。

歴史研究で徳川賞に輝いた 歴史学者の旅の詩集



ISBN 978-4-86099-449-5 A5判 / 126頁 / フルカラー 定価 1,650円

内容見本公開中

目次  
生命の息吹  
自分へのエール  
徒然草はきらいだ  
会いたいのにな  
心の海鏡  
満月のTシャツ  
エトワタの新産  
[フランス/ノルマンディー地方]  
ぐにゃくにゃの恋  
いつもの挨拶  
青い水晶玉の中には  
祈りのない背中  
[長崎県 中津島]  
心はいいかですか  
外海の輝かしい  
はら吹き  
ルクセンブルクの秋  
[ルクセンブルク/旧市街地]  
僕は地獄だ  
高桐院の縁側で  
[東京都 大塚中津島苑美術館]

全27篇収録  
詩にまつわる  
エッセイ  
+ 著者とがき付



## 全国のお母さんお疲れさまです♪

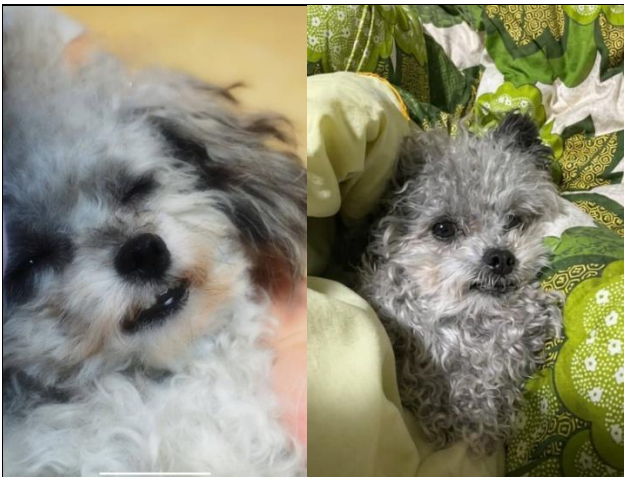
## 故人との諧謔的対話

故人は柔和な笑顔がよく似合う方でした♪長らく社会サービスを活用されながら100近くまで生きられまさに大往生の域に達していたに違いないと感ずる住職。だが、同年代の見送る人たちは既に他界され皆無に等しい。確かに寂しいと感ずる部分もあるかと思い、エレクトーンの奏者に頼んで寂しくないように送り出してもらったのでした。住職も、寂しくないようにと普段は厳かに送るのが常ですが、敢えて笑って送り出せるようにと・・・



## マルシェに出店したんだよ♪

母の日は岐阜メディアコスモスでマルシェで出店すべく当山寺庭が長女と行ってまいり、盛況だったと聞いているんだ♪具体的には、寺庭はアクセサリを長女はカイロプラクティックを提供してきたみたいなんだ♪ボクは隆和尚と留守番ですよ♪待ちくたびれちゃったよ。やで、隆和尚の布団で寝ます♪そうこうしてたら、マルシェから帰ってきたらしげなで嬉しいボクでした♪母の日、みんなお疲れ様だワン🐶



帰りを待ってたんだよ🐶

## バラ公園へ散策に行きました♪

この時期は、隣のバラ公園へバラを愛でるのが常になっている住職♪思い起こせばコロナの時にバラを見に行ったのが初めてでしょうか？あの頃から大して世間は変わっていきませんが、バラだけは、花は変わらず咲いている事に気づかされる住職♪そっと後にしました♪画は檀家さんのをお借りしました♪



## 近所のお寺さんへお参りへと♪

近所のお寺さんが亡くなってはや数年経ちますが毎年、この時期はひっそりと独りで・・・大野町某所にて

